

令和 2 年度
田野畑村地域おこし協力隊
募集要項



岩手県 田野畑村

田野畑村の概要 と 地域おこし協力隊

田野畑村は岩手県の沿岸北部、三陸復興国立公園の中に位置し、「北山崎」や「鵜の巣断崖」など、断崖と青い海が織りなす海岸景勝地に恵まれています。

平地はわずか16%足らずで、ほとんどが山林で占められ、人口は約 3,200 人、世帯数は約 1,400 世帯、少子高齢化が進む典型的な農山漁村です。

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災津波では、これまで経験したことのない未曾有の被害に見舞われ、現在も復興事業や将来に向けた村づくりのため、全村一丸となって進めています。

本村の基幹産業は1次産業であり、それに付随する形で3次産業が営まれています。また、安定した産業や雇用を確立・確保するため、1次産業の就業者支援や第3セクター方式による会社起業を精力的に行ってきました。

観光分野では、前述の優れた景観資源を訪れる観光客が年間約 39 万人(震災以前は約 63 万人)となっており、小さな漁船で断崖を巡る「サップ船アドベンチャー」や三陸ジオパークのガイドなど人気の体験プログラムがあります。

村では、平成28年度から「地域おこし協力隊」制度を取り入れ、現在では、都市圏から移住した 3 名の隊員がそれぞれ、地方創生、水産業の振興、自然を生かした子育てなどの業務に当たりながら、祭りや地域の年中行事、各種イベントなどに積極的に参加するなど、地域に溶け込みながら暮らしています。



1. 活動内容および人員

	活動内容の概要	募集人員
1	<p>◆酪農・畜産の振興に関する活動</p> <p>田野畑村の主要産業の一つに酪農・畜産があります。しかし、酪農・畜産経営者は高齢化や労働力不足により規模拡大を諦めたり、廃業せざるを得ない状況となっています。そこで酪農・畜産経営をサポートする畜産支援員が必要となります。未経験の方が酪農・畜産の現場に入ることは、ハードルが非常に高いため、地域おこし協力隊制度を活用し酪農・畜産支援員候補生を募集します。</p> <p>任期中は酪農・畜産農家等のもとで研修を実施し、任期終了後に酪農ヘルパーや村内の牧場等で酪農・畜産農家として起業することを目指します。</p>	1名
2	<p>◆村民の健康づくり・体力づくりを推進する活動</p> <p>少子高齢化が進む中、健康寿命を延ばすことは田野畑村にとって急務、そして大きな課題となっています。</p> <p>しかし、運動療法室の運動器具の十分な活用や、村民の健康づくりを推進するには専門的知識が必要です。</p> <p>運動器具を活用した運動の指導や支援、地区を巡回しての運動指導などを通じて、村民の健康維持、体力向上につながる活動を進めていくため、健康運動指導士の力が必要となっています。</p> <p>《主な活動内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①田野畑村保健センター「運動療法室」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のパワーリハビリの指導・支援 ・体力づくりなど一般利用者の指導・支援 ②村内各地区を巡回する介護予防教室や生活習慣病予防栄養教室等での運動指導・支援 ③ 健診後等の生活習慣改善指導・支援 など 	1名
3	<p>◆農林水産物を活用した商品開発と食文化を支える生産農家の支援に関する活動</p> <p>田野畑村の農林水産業から生まれる食材の特徴を生かし、郷土料理などを参考にしながら、メニュー開発や商品化する人材を募集します。</p> <p>村内の農産物、水産物、林産物など地元の食材を知っていただくために、漁業や農業を手伝ったり、旬の山菜を採りに山へ入る、などの活動も行っています。なかでも、担い手が急速に減少し今後の生産・販売が危ぶまれている山ぶどうジュースや、伝統的な保存食である凍みイモの粉の栽培支援や技術の継承も行っています。</p> <p>協力隊任期満了後は、観光客などに田野畑村でしか食べられない料理を提供し、地域の食をPRする飲食関連業への従事などを想定しています。</p> <p>《主な活動内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①田野畑村の食材を活用したメニューやお土産品の開発 ②凍みイモの粉や山ぶどうなど村の食文化を支える生産農家の栽培支援、技術の継承 ③村6次産業化推進協議会の補助 など 	1名

【関連活動】

- ・村内情報の発信
- ・地域行事などコミュニティー活動支援に関する業務
- ・村内各種団体の活動支援に関する活動
- ・移住及び交流事業の支援に関する活動
- ・地域住民との連携に関する活動
- ・地域おこし協力隊に係る研修会への参加
- ・その他、地域の活性化に必要な活動

2. 応募資格

次の条件をすべて満たす方。

- (1) 三大都市圏をはじめとする都市地域等に住所を有し、田野畑村地域おこし協力隊として任用後に田野畑村に生活の拠点を移し、住民票を異動させることができる方

※地域要件(三大都市圏をはじめとする都市地域等)

- 条件不利地域(過疎、山村、離島、半島などの指定地域)に該当しない市町村
- 一部条件不利地域の市町村のうち、条件不利区域以外の区域

※他市町村において地域おこし協力隊であった方(地域おこし協力隊としての活動を2年以上経験かつ解嘱から1年以内の場合)については、転出地の地域要件なし。

- (2) 普通自動車運転免許を取得している方

- (3) パソコンの一般的な操作(ワード、エクセル、インターネットなど)のできる方

- (4) 心身ともに健康で、地域住民と協力しながら、地域の活性化に積極的に取り組む熱意と意欲があり、地域行事等にも積極的に参加できる方

- (5) 地域の特性や風習などを尊重し、地域住民と積極的にコミュニケーションを図ることのできる方

- (6) 任期終了後も継続して田野畑村に定住のうえ就業、起業しようとする意志のある方

- (7) 地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない方

※地方公務員法抜粋

(欠格事項)

第16条 次の各号の一に該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人

- (2) 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者

- (3) 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

- (4) 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、第5章に規定する罪を犯して刑に処せられた者

- (5) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府に暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

- (8) 令和2年4月1日現在、年齢が20歳以上41歳以下の方【No,1の活動】

- (9) 令和2年4月1日現在、年齢が20歳以上50歳以下の方【No,2の活動】

- (10) 健康運動指導士の資格を有している方【No,2の活動】

3. 採用予定日 令和2年8月1日以降

4. 任用形態・勤務条件など

雇 用 形 態	田野畑村会計年度任用職員(パートタイム)として採用します。
任 用 期 間	・任用の日から令和3年3月31日までとし、1年以内の期間を定めて延長することができますが、最長で3年となります。 ・地域おこし協力隊としてふさわしくないと判断した場合には、任用期間中であっても、その任用を取り消すことができるものとします。
報 酬 等	月額 200,154 円(週 35 時間勤務の場合) ※期末手当、時間外勤務手当を別途支給します。
勤 務 日 数 ・ 時 間	・活動時間は、原則として1日当たり7時間です。 ・活動日数は、原則として週5日間です。 ※業務の性質上、1日あたりの勤務時間の範囲内で不規則な勤務もあります。土・日・祝日勤務もあり、代休対応とします。 ※活動内容により、活動時間および活動日数は、村と協議のうえ、調整できるものとします。
勤 務 場 所	【No,1 の活動】 村内の酪農家など研修先 【No,2 の活動】 田野畑村保健センター 【No,3 の活動】 一般社団法人燈、道の駅たのはた内飲食店など
加 入 保 険	健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
待 遇 等	・任用期間中の住居は村または、活動支援団体が手当しますが、光熱水費などは個人負担となります。 ・住宅借り上げに係る敷金・礼金は個人負担となります。 ・業務の遂行と通勤用として軽乗用車を貸与します。 ・業務に支障がない範囲での兼業は可能です。事前に届け出が必要です。 ・その他、業務に要する経費は予算の範囲内で支給します。

5. 応募手続

(1) 応募受付期間

令和2年7月8日(水)～令和3年3月31日(水) ※必着

※随時募集のため、応募があり次第、選考を行います。

採用が決まった場合は、募集を中止しますのでご了承ください。

(2) 応募方法

郵送または持参

(3) 提出書類 ※提出された書類は返却いたしません。

①令和2年度田野畑村地域おこし協力隊応募用紙

※必ず顔写真を添付してください。

また、様式は村のホームページからもダウンロードできます。

②活動目標レポート

※希望する業務について、3年間の活動目標レポートを作成し、提出してください。

用紙はA4縦長(1枚)で、横書きのうえ1000字以内としてください。

③住民票抄本の写し(1カ月以内のもの)

④普通自動車運転免許証の写し

⑤健康運動指導士証の写し【No.2の活動】

⑥2年以上続けて地域おこし協力隊として活動し、かつ、解嘱から1年以内であることが確認できる書類(委嘱状・解嘱状の写しなど)【地域おこし協力隊経験者で地域要件の特例の適用を受け

る方のみ]

6. 選考方法

(1) 1次選考

書類審査により行います。結果は、応募者全員に文書で通知します。

(2) 2次選考

1次選考合格者を対象に、村役場で面接を行います。日時等は1次選考合格者に通知します。
なお、2次選考に係る交通費、宿泊費等は自己負担となります。

(3) 最終選考結果の通知

2次選考終了後、2週間以内に通知します。

7. 応募・問い合わせ先

〒028-8407

岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑143番地1

田野畑村政策推進課 地域おこし協力隊募集担当者宛て

TEL:0194-34-2111 FAX:0194-34-2632

E-MAIL:seisaku@vill.tanohata.iwate.jp

令和2年度田野畑村地域おこし協力隊応募用紙

令和 年 月 日

ふりがな 氏名	印		性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	写真 (33 3cm×44 4cm)
	昭和 年 月 日生 (満 歳) 平成 年 月 日生 (満 歳) 〒			
現住所 連絡先	電話番号 (自宅)		電話番号 (携帯)	
	E-mail			
希望業務	<input type="checkbox"/> 酪農・畜産の振興に関する活動 <input type="checkbox"/> 村民の健康づくり・体力づくりを推進する活動 <input type="checkbox"/> 農林水産物を活用した商品開発と食文化を支える生産農家の支援に関する活動			
応募理由				

家族構成	配偶者(有 ・ 無) 扶養者(有 ・ 無) 扶養者「有」の場合はその人数 (人)
ボランティア等の自主活動経験	
取得している資格・免許等	<資格・免許等に限定条件があれば必ずご記入ください>
趣味・特技・技術	
健康状態	<健康状態で特記すべき事項があればご記入ください>

<p style="text-align: center;">学 歴</p> <p>※中学校卒業からご記入ください。</p> <p>※最終学歴は必ずご記入ください。</p>	在学期間	学校等名称(学校、学部、学科、コース)		
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
<p style="text-align: center;">職 歴</p> <p>※最終職歴は必ずご記入ください。</p>	在職期間	勤務先の名称	職務内容	所在地 (市区町村名)
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
	年 月から 年 月まで			
<p style="text-align: center;">備 考</p>	(伝えておきたいことなどありましたら、ご記入ください。)			